【留意事項】
(1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
※1 1バンク運用のため1バンク設備容量を記載
※2 3バンク運用のため1バンク故障時を考慮し2バンク分の容量を記載
※3 4バンク運用のため1バンク故障時を考慮し3バンク分の容量を記載
※4 1バンク故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
(2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
(3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
(4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N－1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N－1電制適用可であっても、設置されるとは限りません。
また、適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
＃1 基幹系ループ系統のため
＃2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
＃3 配電用変電所のため
＃4 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
(5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。
(6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
(7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
(8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
(9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、予想潮流、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
(10) 平常時出力制御が必要となりうる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
＊ https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryou.html
(11) 潮流値は、アップ潮流最大時の潮流を現時点で想定される条件において算出したものであり、実際の潮流値と異なる可能性があります。
(12) 個別需要が分かる専用線等や電源が1ユニットのみの電源線については第三者情報を排除するよう加工処理をしております。
(13) 当社の公開する系統アクセス情報を利用される方が本情報を用いて行う一切の行為について、当社は責任を負いません。
(14) ノンファーム型接続対象外の設備は、備考欄に「●」を記載しております。

2026年9月9日 更新
※高圧側から低圧側に流れる方向を正としています。

変電所No	変電所名	電圧[kV]		台数	設備容量(100%×台数)[MW]	運用容量値[MW]	運用容量制約要因	予想潮流[MW]	空き容量[MW]	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量[MW]	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性がある設備		備考
		一次	二次										当該設備	上位系設備	
HSS001	中能登	500	275	3	2138	2138	熱容量	−1977	−	可	0	−	−	−	※2
HSS002	中能登	275	154	3	1045	998	熱容量	−819	−	可	47	−	−	−	※2※4
HSS003	新富山	275	154	4	1330	1045	熱容量	−1521	−	不可 ＃4	−	有り	対象	H104,H105	※3※4
HSS004	加賀	500	275	2	1900	1425	熱容量	−787	−	不可 ＃1	−	−	−	−	※4
HSS005	加賀	275	154	4	1520	1520	熱容量	−567	−	可	0	−	−	−	※2※4
HSS006	東金津	275	77	2	380	285	熱容量	−112	−	可	95	−	−	−	
HSS007	新福井	275	154	4	1235	1235	熱容量	−994	−	可	0	−	−	−	※3※4
HSS008	越前	500	275	2	1900	1425	熱容量	−756	−	不可 ＃1	−	−	−	−	※4
HSS009	越前	275	77	2	380	285	熱容量	−107	−	可	95	−	−	−	※4
HSS010	南条	275	154	2	760	380	熱容量	−97	−	可	250	−	−	−	
HSS011	敦賀火力	275	77	2	380	285	熱容量	2	−	可	95	−	−	−	※4
HSS012	黒部	154	66	2	285	214	熱容量	−118	−	可	71	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	※4
HSS013	江口	154	66	2	333	190	熱容量	−42	−	可	143	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	※2
HSS014		154	66	1			熱容量		−			有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	◇
HSS015	舟橋	154	66	2	380	285	熱容量	−132	−	可	95	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	※4
HSS016	新中地山	154	66	1	53	53	熱容量	−52	−	不可 ＃2	−	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	※1
HSS017	和田一	11	3.3	1	1	1	熱容量	−	1	−	−	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	※1●
HSS018	折立	3.3	3.3	2	1	1	熱容量	−	1	−	−	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	●
HSS019	富山	154	66	2	380	190	熱容量	−107	−	可	190	有り	−	H026,H104,H105,HSS003	※4
HSS020	富南	154	66	3	570	380	熱容量	51	−	可	190	有り	−	H104,H105,HSS003	※2
HSS021	北笹津	154	66	2	285	214	熱容量	−175	−	可	71	有り	−	H104,H105,HSS003	※4
HSS022	東町	11	6.9	2	36	22	熱容量	−	4	−	−	有り	−	H104,H105,HSS003	●
HSS023	牧	154	6.6	1	6	6	熱容量	−	4	−	−	有り	−	H104,H105,HSS003	※1●
HSS024	塚原	154	66	3	523	333	熱容量	−18	−	可	190	有り	−	H104,H105,HSS003	※2
HSS025	南福岡	154	66	4	665	475	熱容量	−221	−	可	190	有り	−	H104,H105,HSS003	※3
HSS026	伏木	154	66	3	475	285	熱容量	32	−	可	190	−	−	−	※4
HSS027	新能登	154	66	4	570	570	熱容量	−385	−	可	0	−	−	−	※3※4
HSS028	鳳至	154	66	2	285	214	熱容量	−158	−	可	71	有り	−	H040	※4
HSS029	北金沢	154	77	4	665	665	熱容量	48	−	可	0	−	−	−	※3※4
HSS030	御所	154	77	2	380	285	熱容量	−44	−	可	95	−	−	−	※4
HSS031	南金沢	154	77	4	760	760	熱容量	−47	−	可	0	−	−	−	※3
HSS032	新小松	154	77	3	523	499	熱容量	−31	−	可	24	−	−	−	※2※4
HSS033	北庄	154	77	2	333	190	熱容量	−145	−	可	143	有り	−	H053	※2※4
HSS034	松岡	154	77	2	380	285	熱容量	−47	−	可	95	−	−	−	※4
HSS035	丹生	154	77	2	380	285	熱容量	8	−	可	95	−	−	−	※4
HSS036	新武生	154	77	2	380	190	熱容量	25	−	可	190	−	−	−	※2
HSS037	新敦賀	154	77	2	238	95	熱容量	0	−	可	143	−	−	−	※4
HSS038	和泉	154	6.6	2	19	10	熱容量	−	9	−	−	−	−	−	●
HSS039	栃尾	154	66	1	11	11	熱容量	−11	−	不可 ＃2	−	有り	対象	H104,H105,HSS003	※1